

みやまえナビ No. 10

平成27年11月13日
(2015)



ホームページアドレス www6.wakayama-wky.ed.jp

校長 坂本 雅城

教育講演会「人間って素晴らしい」～親から子へ、子から親へのメッセージ～

38年間の教職生活での経験をもとに、歌とトークで会場を取り込み、アツと言う間の80分間でした。講演内容について少しお知らせします。

はじめに、『きみとぼくの間に』という歌から始まりました。ある子が「ぼくも人、先生も人。でも、先生がぼくのところにきてくれたから“人間”になるんだね。」と言ったことから生まれた歌です。クラスの中で、問題のある子がいたとしても、その子が問題を起こしているには必ずわけがある。ぼくは人、そこへほっとかれれば人のまま、ほっとかされたままだったから。今、自殺する中学生が出ています。これも、人のまま置かれているからです。ひとりにしておかないで、そこに親、兄弟、友達、教師が関わることで、死にたいという気持ちを食い止めることができるのです。もう一つ、今、簡単に死ぬ世の中になってしまっているのは、ゲームの様に、容易にリセットできているからです。「きみとぼくの間に」どんな花を咲かせたいですか？(笑顔の花？思いやりの花？元気の花？平和の花？ユーモアの花？???)

笑顔の先生、笑顔の教室にはあざけ笑いは起きないし、いじめも起きにくい。皆さんのおうちの人は笑顔ですか？笑顔のある家と、恐ろしい顔をしている家がある。恐ろしい顔をしている家の人の声は、大体アルト（低い）です。笑顔の家の人はソプラノ（高い）「早く手を洗って宿題しなさい！」「早く寝なさい！」これらは、アルト（低い声）で、ソプラノ（高い声）では言いません。『化粧をするより心に笑顔を』子どもは、お母さんお父さんが笑顔の時、頑張れます。

お母さん方は間違っていることが一つあります。お腹の中に10カ月入っていたわが子を、自分の所有物と思っている方がいます。

会話がなく、スマホをいじっているおうちの方がいます。ベビーカーを押しながら・・・食事の間・・・。1, 2年生で教師に暴力をふるってくる子が増えています。これも伝える力の低下、家族の団らんの時間が減っているからです。人のまま置いてきてしまったからです。

人のままほっとかないクラスにすることで、一つずつみんなと行動できるようになっていきます。誰かが近づけば、変わります。今、クラスに、

- ・いじめてる子はいませんか？
- ・いじめられて泣いてる子はいませんか？

・暴力を振るう子はいませんか？

みんな人のまま置かれているからそうなっているのです。「あいつ最低や」と言っているクラスは絶対変わりません。何で殴り、何でイライラしているか、「聴く」という姿勢が出てくれば、みんな変わります。

♪きみとぼくの間に♪

きみとぼくの間に ひまわりを咲かせよう おひさまの下で だけどひまわりだけじゃ ちょっぴりさみしいから もうひとつ咲かせよう ひまわりの花が咲き乱れて 世界中をつつむよ	きみとぼくの間に 〇〇〇〇を咲かせよう おひさまの下で そして青空の中 ほほえみと愛の中 咲かせ続けましょう 咲かせ続けましょう きみとぼくの間に
---	--



不登校の子が戻るきっかけになった歌を歌います。「DO MY BEST！」

自分はできない、良いところがない、と決めつけています。自分で可能性を消しています。その上に、親や先生に駄目だしされたら、自信を無くしてしまいます。みんなは可能性の塊です。『子どもは古新聞にくるまれたダイヤモンド』です。古新聞はたいがい捨ててしまいます。ところが、何か入っているかなと開けた人はダイヤモンドと分かります。みんな変わるんです。人と人が仲良くなれば変わっていくのです。自分の周りにいる人で元気がなかったら、「その人を人間にする」ということをいっぱいしてください。自分の可能性を消してはダメです。

DO MY BEST!

Do my best!

少しずつたとえ目には見えなくても

Do my best!

自分に恥じないように生きてみよう

※

1. ぼくなんて何をやっても どうせだめ

だめだと決めつけてしまったときに

明日への道は消える

今ここに生まれたのは

一人ずつ輝く瞬間があり

その輝きで生命を照らすため

見つけよう自分の生まれた意味を

意味をさがしてゆこうよ

※くりかえし

2. 今よりもっと大きな自分を

夢見ているかぎり 求めるかぎり

明日への道は続く ぼくたちはどんな人も

一人ずつ大事な人だから

かけがえのない生命の花だから

見つけよう自分の生まれた意味を

意味をさがしてゆこうよ

※くりかえし

3. 今ここに生まれたのは一人ずつ

力と知恵を出し温めあって生命をつなぐため

見つけよう自分の生まれた意味を

意味をさがしてゆこうよ

※くりかえし

※くりかえし

〈5、6年児童は教室に戻り、保護者に向けて〉

子どもはこれから大変です。5、6年生ともなると思春期に入ってきます。これはまともなものです。口答えをしないとおかしくなるのです。若者の48%は彼女・彼氏がいないと言っている、こんなあり得ない数字です。

親の川柳から

☆「偉そうに これが私の 赤ちゃんか」反抗期ではなく成長期なのです。喜ばなければなりません。親は子どもが生まれて初めて親になれたのです。子どもが12歳なら親も親として12年、同級なのに、自分の所有物のように考えている親がいます。子どもの12年間の成長は凄まじいものがあります。それに比べ、親の12年の成長は退化しているに近いのです。そんな子に、親の言うことを聞きなさいは、おかしいのです。

☆「言うことを まじめに聞けと つい叩く」これ体罰です。思春期の子に手を出すということはもう大変なことが待っています。感情的になる。親が子どもを怒るとき暴力を振るう家庭では、子どもも暴力を振るう子になります。

万引きして止まるケースは3つのうち1つだけ、

1、殴る、蹴る、家から追い出す、とことん痛めつける。このケースでは、ほとぼりが冷めたころまたやります。

2、万引きの罪の重さを認識していない。たった1個取っただけ。事の重大さを分かっているならば、止まりません。

では止まる家は、

3、夫婦そろって子どもと一緒にいき、心から謝罪をする家。これは罪の重さがわかり、二度としなくなります。

説得と納得の違いです。説得は簡単にする。「早く用意しなさい」「早く片づけなさい」毎日怒鳴りつけていないといけないので、親は疲れます。逆に、ニコニコしてどうするか考えさせ、納得させるのです。

どうしてお母さんは、男の子を相手にすると感情的になりやすいか？男の子の母親は愛しく思う、一方で、激しく感情的になりやすい。

☆「見下ろすな おこられてんのは あんたやで」子どもを怒っているはまともには育ちません。「怒る」と「叱る」は違います。怒るは感情的になる。叱るは曲がっている状態を直すのに口を使うのです。学校でも、家庭でも同じですが、毎日のように怒鳴りつけられている子は、よく体調不良を訴えます。保健室をよく利用します。

私が、不登校等で相談に乗っている家で多いのが、父親のいる家の母子家庭状態（父親は子育てに協力的でない）です。

お父さんのタイプには3つあります。いいのは③だけ

① 子どもは女が育てるものや、俺は外で稼いでくる。

（子どもがおかしくなるとお前の責任やと奥さんを責める）

② 優しい優しい父ちゃん。優しいだけ。厳しさが何にもない。緩みっぱなし。



③ お父ちゃん大好きだけど、怒ったらめっちゃくちゃ怖い。普段は子どもとの距離は近いけど、怒ると半端じゃないぐらい怖いお父ちゃん。父親の責任を感じている家は大丈夫です。

怒るときはアルトの声（低い声）、牛の鳴き声、モー「何回言ったら分かるの、モー」「あんたは、モー」こんな疲れるだけで、子どもがよくなるはずがない。子どもを否定しているからです。中学、高校になると、母親を全く怖がっていない。台風と一緒に、いつか過ぎていくのをじっと我慢するだけ。暴風警報発表のあとは快晴になる。機嫌を取りに来る。いつしか優しい母親に戻ってしまう。子どもはそれがわかっているから、ぜんぜん母親が怖くない。



最後、『芽吹く季節（とき）』という歌。非行に走った子が立ち直ったり、離婚寸前で思いとどまったりとか、色々なドラマが含まれている。そんな歌です。

子どもは可能性の塊です。信じてやってください。

以上、中西先生のお話を簡単にまとめてみました。気さくに目の前の子ども達や保護者の方々と話をしながら、笑いを交えて大切なことを私たちに伝えてくださいました。しっかり心に留めて、できることから実行していきたいものです。すべては子ども達のために……。



芽吹く季節

1. いつまでもこのままで

終わるほくじゃない

ひそやかに芽吹く季節

じっと信じてる

誰だってさみしくて

心傷ついて

うつむいてしまうけど

だけど夢見てる

明日すぐに開かなくても

きっとやさしい風が吹くから

あきらめないであたためてゆこう

目覚めるたびふくらむから

2. 空見上げ涙ぐみだけのほくじゃない

あざやかに芽吹く季節

じっと信じてる

少しずつ少しずつ 思い込めながら

後ずさりする時も だけど夢見てる

明日すぐに開かなくても

きっとやさしい風が吹くから

あきらめないであたためてゆこう

目覚めるたびふくらむから

目覚めるたびふくらむから

中西先生にご相談したい方、著書、紹介して下さった曲等、お問い合わせがありましたら、伊勢（教頭）まで！